

駅周辺・矢田町通りの再整備イメージ  
“交通ネットワークや街路空間イメージを共有しよう！”

7月28日(金)18:30~20:30  
DMG MORI やまと郡山城ホール

第4回 NEWS LETTER

〒639-1198 大和郡山市北郡山町248番地4  
大和郡山市役所都市建設部都市計画課  
担当：まちづくり協定推進室  
TEL：0743-53-1151 (内線672)  
E-mail：tosikei@city.yamatokoriyama.lg.jp

ワークショップの内容を市民の皆さんにお知らせするため、ニュースレターを毎回発行しています！

城廻り線内の交通動線や矢田町通りの街路空間イメージについて話し合いました！

第4回ワークショップでは、現在のまちなかの交通動線の特徴を踏まえたうえで、北へ移設された場合の駅へのアクセスのしやすさや城廻り線内の交通動線、さらに矢田町通りの街路空間イメージについて、意見交換しました。

まちづくり基本構想においても、「通過交通の城廻り線への誘導」や「地区内道路の制御、快適な回遊の仕掛けづくり」について検討されています。各班での話し合いでは、この考えを具体化する様々なアイデアを参加者の皆さんから出していただきました。



現在の交通動線の特徴と今回のワークショップの論点

論点 ①

近鉄郡山駅の北移設後の駅へのアクセスや城廻り線内の交通動線のあり方は？

論点 ②

矢田町通り近鉄駅西側の交通動線や街路空間のあり方は？

論点 ③

矢田町通り近鉄駅東側の交通動線や街路空間のあり方は？

矢田町通り  
近鉄駅東側は、  
歩行者優先！

矢田町通り  
近鉄駅西側は  
今の道路幅でよい。

今の街並みや  
風情を残したい。

歩行者が安全で  
快適に回遊できる  
街路空間にしたい。

基本構想  
「まちづくりの方針」

“城下町の街並み・みちの魅力を残しつつ、”地区内で安全に安心して歩ける環境を形成することが必要

地区内の安全を確保し、住民が歩いて健康に暮らすことができ、地区外の人でも歩いて周遊観光を楽しめるまちづくり

自動車の通過交通の地区内への流入を極力抑制

地区内の自動車の交通を最小限にしたうえで、歩行者と共存し、居住者も観光客も安全に回遊できる歩行環境を形成

通過交通の城廻り線への誘導

- ・地区周辺の幹線道路の充実（城廻り線等）

地区内道路の制御、快適な回遊の仕掛けづくり

- ・矢田町通り、柳町商店街、紺屋町通りを安心して楽しく歩ける道へ
- ・通学路等の歩行環境向上
- ・地区内を回遊する仕掛けづくり

## 論点

①

全体の交通ネットワーク

- ・城廻り線のアンダーパスが整備されれば、通過交通は城廻り線を通ると思う。
- ・城廻り線が通りやすくなれば、地区内の通過交通は減ると思う。
- ・車を速やかに地区外へ出す。(流入抑制)
- ・城廻り線周辺に駐車場を整備し、まちなかには歩いてアクセスするようになると良い。
- ・「街全体が広場」という感じになると良い。
- ・駅が北に移設されると、紺屋町の自動車交通量が増えると思われるので、紺屋町通りの柳町通り～駅区間は歩行者専用道路もしくは広場にする。
- ・柳町通り(市役所～矢田町通り間)も歩行者専用にとできると良い。
- ・今のまちなみ・風情を残したい。
- ・近鉄線を東西に抜けるルートはつくって欲しい。東西が分断されると、商店街にも影響が出るかもしれない。

城廻り線の  
通行の円滑化

まちなかは  
快適な歩行環境

## 論点

②

矢田町通り  
近鉄駅西側の  
あり方

- ・矢田町通りを拡幅すると、かえって交通量が増えそうなので、拡幅は必要ない。
- ・拡幅をすると、用地買収等に時間がかかりすぎる。
- ・一部狭い区間は拡幅して通りやすくすると良い。
- ・新駅南の踏切を通行不可にする場合、西側にもロータリーが必要。
- ・生活上の車の動線は、できるだけ不便にならないようにしてほしい。
- ・新駅西側から新駅へのアクセスは、11号踏切→三の丸線→城廻り線でループできれば良い。
- ・新駅西側は、矢田町通り→駅西ロータリー→大和郡山病院北側→矢田町通りでループできれば良い。
- ・新駅西側の通行ルートとして、鷺池の遊歩道沿いに道路を整備→矢田町通りでループにできれば良い。

道幅の拡幅は  
必要ない

新駅西側にも  
ロータリー必要

駅西側の  
通行ルート

## 論点

③

矢田町通り  
近鉄駅東側の  
あり方

- ・矢田町通り近鉄駅東側は人優先。極力車を入れない。
- ・新駅周辺は歩行者優先にして、車の通行は荷捌きや高齢者送迎のタクシーに限定。
- ・矢田町通り近鉄駅東側は、時間規制や指定車両以外の交通規制はどうか。
- ・車両抑制のため指定車両以外の車へ課金してはどうか。
- ・車に速度を出させない工夫(蛇行路、信号設置等)をすると良い。
- ・まちなかの回遊性を高めるため、新たな集客の核を設け、新駅(核)と2核1モールをつくれると良い。(新たな核は、矢田町通りと柳町通りや藺町通りとの辻部分が良い)
- ・矢田町通り近鉄駅東側の道路空間は賑わいづくりのため、石畳舗装や無電柱化、店の前をカフェテラス化(閉店時は歩行空間)すると良い。
- ・沿道にある駐車場を駅前などに集約化できると良い。

歩行者優先

車両流入抑制策

回遊したくなる  
街路空間の整備

発表の  
様子



アドバイザー  
久先生  
より

今回のワークショップのテーマであった交通計画については、通過交通を城廻り線へ誘導すること、地区内部の住人の生活動線を分けて検討していくことが大切です。また現状のまちなかは、一方通行規制が複雑で市外の人にとって分かりにくいことが、通過交通を排除することにもつながっているとも言えます。

これらのことを踏まえ、郡山らしい城下町の風情や雰囲気を変えないように、道路整備と交通規制というハードとソフトを組み合わせせた整備のあり方が求められます。